

利益計画と資金計画

キャッシュがショートしない様、経営者の事業計画を適切にバックアップします。

収益と費用の計画（フロー）はどの企業でも行いますが、資産・負債（ストック）の計画はほとんどの企業で行われていません。特に資金予測計画を行っている企業は皆無に近いのが現実です。

成長し続けている企業では、増収・増益を続けていくと、資金が極端に不足してきます。社長のイメージどおりに利益計画（損益計画）を作成した後、資金計画（キャッシュフロー計算）を作成すると、必ず資金が足りなくなります。私達は、社長の利益計画を資金予測に落とし込み、どの時点でキャッシュがショートするか、そしてどのような資金繰り対策を採れば良いか、じかにアドバイスしていきます。

『見落としがちな資金ショートの原因』

- * 債権債務のサイトギャップ
売掛金等債権が3ヶ月で入金されていることに対して、買掛金等債務の支払は1ヶ月という場合。
- * 営業所の開設
売上高は拡大するが、人件費がそれを上回って増加してしまった場合。
- * 在庫の回転率
不良在庫などに資金が滞留してしまっている場合。
- * 納税資金
利益の半分は税金。特に事業年度末に納税し、その翌事業年度中間納税を納める場合。

